

令和 7 年度に向けた外国人医療体制整備事業の方向性(案)について

◆ 令和 6 年度実施事業(継続)

- 「多言語遠隔医療通訳コールセンター設置・運営の拡充事業(フランス語の追加と動画通訳)」や「外国人受入れワンストップサービス相談窓口設置・運営事業」など、これまで実施してきた事業については、令和 7 年度についても継続実施を検討。

◆ 令和7年度に向けて検討するポイント

(R6.7.31 外国人患者受入れ拠点医療機関・地域拠点医療機関連絡調整会議での意見より)

○ 各病院での役割について

(意見)

緊急性の低い患者であるにも関わらず、拠点医療機関に来院される現状があり、地域のプライマリケアの病院から紹介状が増えていることから、あらためて周知・指導を行ってほしい。

○ 研修について【外国人患者の受入れ】

(意見)

外国人患者受入れに際して研修を行っている医療機関や OJT の中で研修を行っている医療機関もあるが、教育まで手が回らない現状があるのではないか。

○ 外国人患者を受入れる医療機関同士の意見交換の場について

(意見)

今も医療機関においては、小規模なコミュニティにおいて、医療コーディネーター同士で情報交換を行っていただいているところ。このような情報交換を行うことは有効であるものの、全圏域では広がっていない。

○ 未収金対策について

(意見)

大阪府で未収金にかかる補填事業の検討はあるのか。